

令和 1 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	(水道)水のたいせつ啓発事業	会計名称	水道特別			担当課	水道課	
		予算科目	1 款 1 項 4 目	事業番号	9939	所属長名	野島康博	
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)					担当責任者名	長岡崇	
法令根拠等	水道法					実施期間	【開始】	令和/平成 22 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 潤いのある水環境づくり						【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	潤いのある水環境づくりにおいて、限られた資源である水の大切さを認識してもらう。							
事業の対象	市民 (水道利用者)				事業の目的	水の大切さを再認識し、水道事業に対する理解の推進を図る。		
事業の内容 (整備内容)	全国で実施される水道週間に併せて水道に関する市民の関心を深め、水の大切さを認識してもらうよう、広報誌やホームページでの節水に対する啓蒙・啓発活動を実施する。				昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	1年度予定	9月末の実績	1年度実績
直接事業費	119	204	0	0	0	197	浄水場施設見学	人	333		280	280
財源内訳												
国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0						
一般財源	119	204	0	0	0	197						
職員の人工 (にんく) 数	0.03	0.08				0.08						
1人工当たりの人件費単価	7,982	7,992				7,992						
※ 直接事業費+人件費	358	843				836						
主な実施主体	直接実施		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)									
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	5年間の合計		
					200	200	200	200	200	1,000		
成果指標	指標	浄水場施設見学における見学者の実施数量のみを記載する。			単位	人	区分年度	前年度	1年度	2年度	目標	毎年度
	指標設定の考え方	本事業の活動内容は広報や利用者サービス等多岐にわたる。主に小学生を対象としている浄水場施設見学の人数を活動の指標とするが、要望に基づく事業実施であるため、事前に目標値を設定することは困難である。				⇒	目標					
	指標で表せない効果	浄水場を見学し、どこから来た水をどのようにきれいに利用者のもとに届けるのか、といった仕組みを知ることで、限られた水資源の大切さを理解・認識してもらう。					実績	333	280			

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		小学生の課外授業として浄水場施設見学が実施されているが、その際に職員による出前授業を実施している。このとき、水がどのようにしてつくられ各家庭に配られているか、といった関心が深められ、水の大切さに対する理解が得られた。									
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が	A	事業成果・工夫した点	小学生の課外授業については、分かりやすい資料を作成することで、水がどのようにしてつくられ各家庭に配られているかを説明できた。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の積極的に関与・実施すべき事業である。	5						
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3	合計点が	B				
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3						
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多岐にわたる。	3						
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3	合計点が	A					
		コスト効率	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3							
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	5							
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が	A	事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業継続と判断する。</li> <li><input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する</li> <li><input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する</li> </ul> (判断の理由) 水道事業における節水の啓発は重要であるため、事業継続と判断する。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の積極的に関与・実施すべき事業である。	3						
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3	合計点が	B					
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3							
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多岐にわたる。	3							
効率性		手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3	合計点が	A					
		コスト効率	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3							
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	4							
所属長の課題認識	所属長の課題認識	事業の方向性	5 4 3 2 1 水道の現状や課題に対して理解を深めてもらい、今後の事業の取り組みに理解を得るために、また、水の大切さを認識してもらうために、小学生を対象とした施設見学に取り組んでいる。今後は、より多くの市民に関心を持って頂く企画や活動等の検討する必要がある。								

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>		

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	